

# 九州の自律的経済圏の形成に向けて

## 循環型高速道路ネットワークの整備効果

"K y u s h u" a s o n e.

Fukuoka

Saga

Nagasaki

Kumamoto

Oita

Miyazaki

Kagoshima

Okinawa

「九州はひとつ」

平成19年8月

### 九州地域戦略会議

(社)九州経済連合会 九州商工会議所連合会 九州経済同友会 九州経営者協会  
福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県 山口県

# 循環型高速道路ネットワークの整備効果

九州の自律的経済圏の形成に向けて

"Kyushu" as one.

九州は、ひとつ!

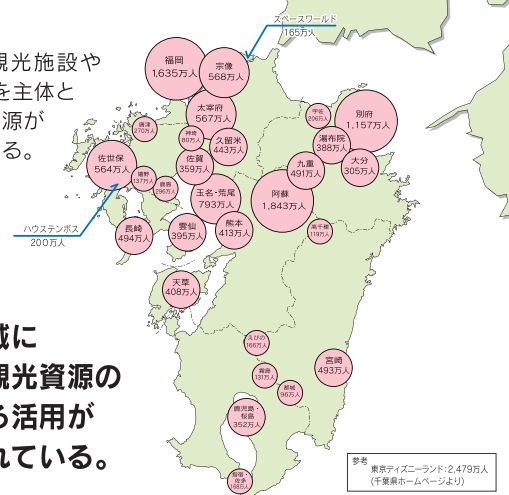
課題

効果

観光資源の活用

九州には観光施設や自然・歴史を主体とする観光資源が広がっている。

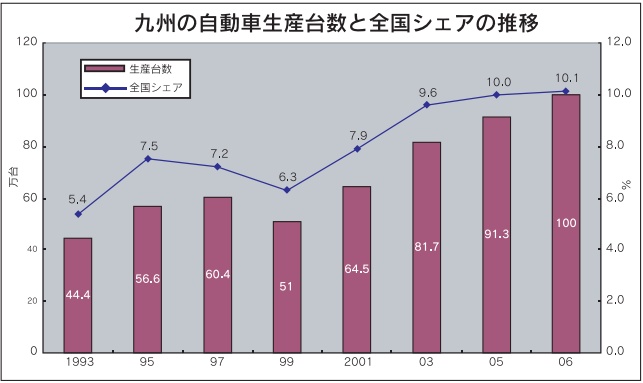
九州全域に広がる観光資源のさらなる活用が求められている。



産業集積の促進

自動車やIC等の九州の基幹産業の集積を促進していくことが求められている。

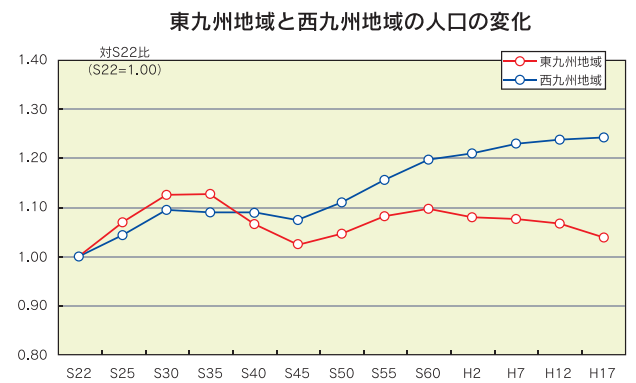
九州では、自動車生産量が全国の1割にのほり、「カーアイランド」の地位を確立しつつあります。



地域格差の是正

九州の一体化に向けて、東西格差の是正の取り組みが求められている。

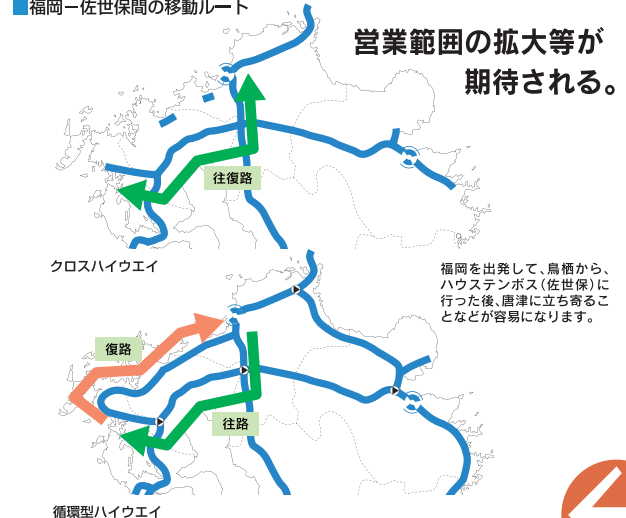
現在、西九州と東九州では、人口や所得の伸びに格差がみられる。



回廊性の効果

## 通過箇所数の大幅な増加

従来よりも短い時間で多くの地域に立ち寄ることが可能に。



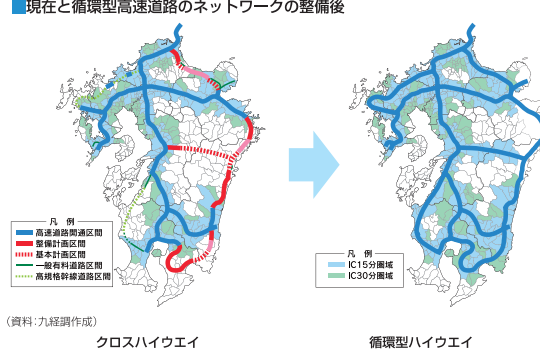
利用機会の拡大の効果

## 高速道路の利用増加

人口の9割以上がIC 30分圏に。高速道路の利用台数が34.4%増加。

## ビジネス圏域の拡大

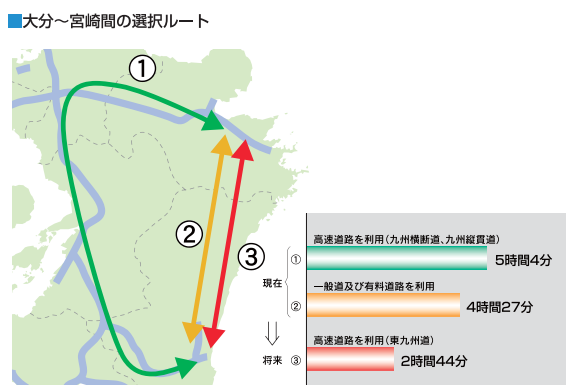
製造業・小売業の9割、農業の8割がIC30分圏に。地域間連携や集客圏域の拡大が期待される。



最短経路選択の効果

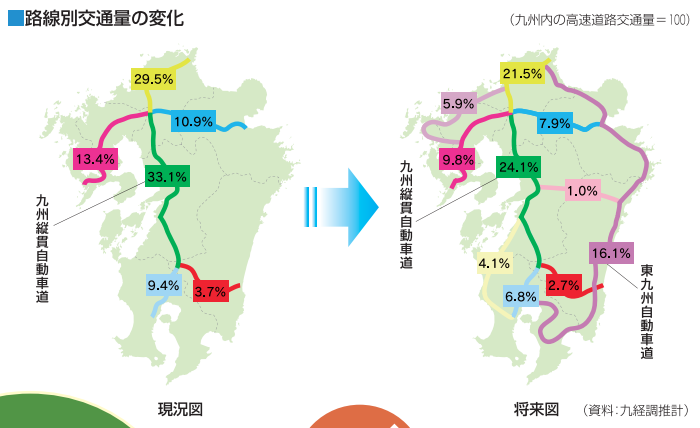
## 時間短縮

目的地への最短ルートを選択が可能に。移動距離や移動時間が大幅に短縮。



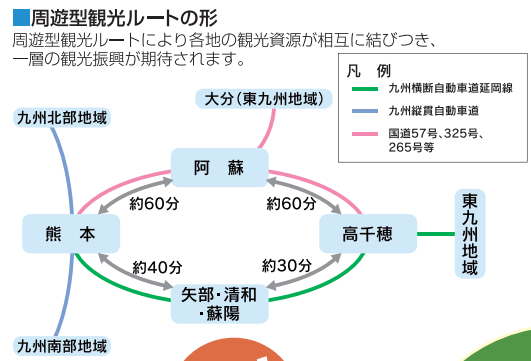
## 交通がスムーズに

交通量が集中していた路線の負担が軽くなり、交通がよりスムーズに。交流人口の増加を促進。



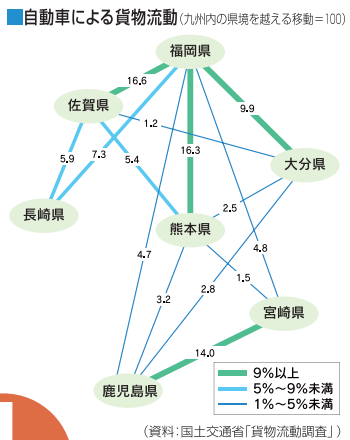
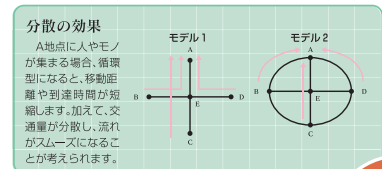
## 周遊型観光ルートの形成

各地の観光資源が相互に結びつく。一層の観光振興が期待される。



## 部品調達率の向上

交通の円滑化により、部品調達率が向上。自動車・ICをはじめとして、さらなる産業集積を促進。



自立ある地域の発展 (産業・観光振興)

自律的経済圏の形成

地域連携・交流の促進

▼高速道路の整備効果をレポートした新聞記事より

### 全通効果 6兆6200億円

3割供用の東九州自動車道  
生産誘発額 現状の2.4倍

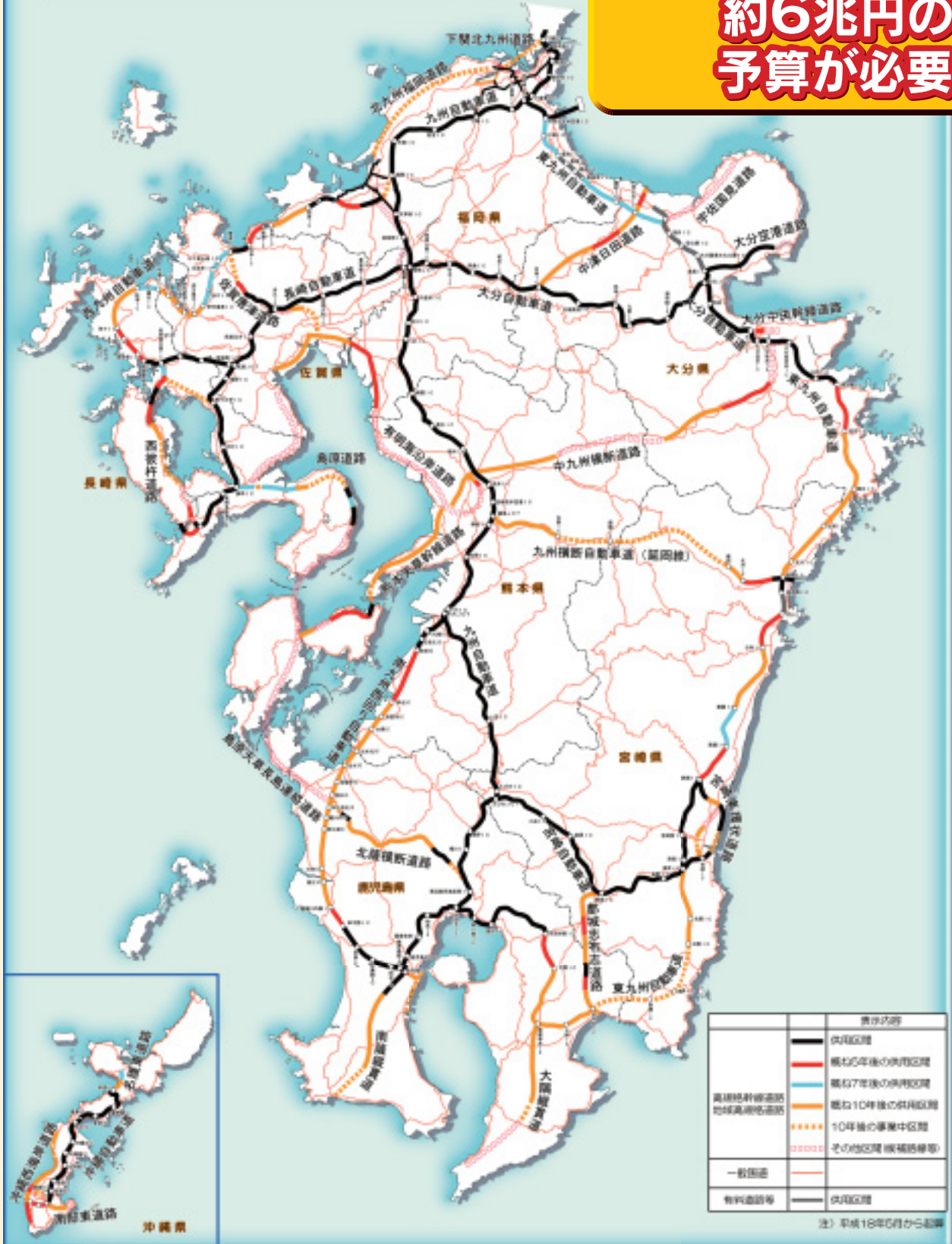
「産業力が飛躍」

(西日本新聞 2004年8月6日)

- 高速道路網等の広域的ネットワーク整備による九州全体の生産誘発額は、6兆6200億円。
- 現状と比較して、将来のネットワークが整備されれば3兆8600億円の生産誘発が見込まれる。

# 九州の真に必要な道路網図

今後10年間で  
約6兆円の  
予算が必要。



納税者である自動車ユーザーの大半は、まだ道路整備は不十分と考えています。九州・山口地方の自立的かつ一体的発展に向けた循環型高速道路ネットワークの形成には、**安定した道路整備の財源確保が必要不可欠です。**